

製銅會社創立證書并定款

133

製銅會社設立御願書并家狀

製銅會社設立御願控

一 去明治十三年八月北區中ノ島玉江町壹丁目壹番地ニ於
テ製銅所建築ノ儀發起惣代地主杉村正太郎並ノ上願仕候
處御許可相成則建築ニ着手罷在候ニ就テハ別紙定款ノ如
ク成規ヲ設ケ營業仕度候間何卒會社設立ノ儀御許可被成
下度此段奉願候也

明治十四年第一月三十一日

大阪府知事 建野

東區南久太郎町貳丁目

發起人 杉村正太郎

明治十四年三月十六日

北區天滿老松町三丁目

伊藤 藤右衛門

同 東區伏見町四丁目 藤本清門
 同 北區天龍寺町三丁目 又平
 同 同區唐物町貳丁目 山口吉郎兵衛
 同 東區南八木太田町 山口吉郎兵衛
 同 同區北濱四丁目 平瀬龜之助
 同 同區高麗橋貳丁目 三井元之助
 同 南區鰐谷東ノ町 住友吉左衛門總理代人
 同 廣瀬 宰平
 同 東區今橋貳丁目 鴻池善右衛門
 同 同區同町三丁目 中野梧一
 同 西區鞆北通壹丁目 五代友厚
 同 前書之通申出候ニ付與印仕候也
 北區玉江町壹丁目 現場戶長 津田武助
 同 同區同町三丁目 中野梧一
 同 西區鞆北通壹丁目 五代友厚
 同 前書之通申出候ニ付與印仕候也
 北區玉江町壹丁目 現場戶長 津田武助

同 同區同町三丁目 中野梧一
 同 西區鞆北通壹丁目 五代友厚
 同 前書之通申出候ニ付與印仕候也
 北區玉江町壹丁目 現場戶長 津田武助
 大阪府知事建野郷三殿
 書面之趣聞置候條營業鑑札ハ所轄區役所ニ可願出候事
 明治十四年三月十六日
 大阪府知事建野郷三

大洲實業事發覽三

明治十四年三月十六日

書面之通關書發覽錄三

大洲實業事發覽三題

東田 先 郎

東田 先 郎

北區 正 五 郎 壹 丁 目

前書之發覽申出題ニ付英明出題也

通關中ニ付英明出題申出題

同

正 分 次 早

西區 勝 非 屋 壹 丁 目

同

中 理 計 一

同區 同 理 三 丁 目

池 邊 光 一 郎

製銅會社創立緒言

今ヤ國運日ニ月ニ進歩ノ點ニ向ヒ百般ノ事物競フテ其面
 目ヲ革ムルニ際シ製造工藝ニ關スル事業モ頗ル其興起ス
 ルヲ見ルト雖モ獨リ銅板及ヒ銅線製造之如キハ未ダ之ニ
 着手スルモ之アルヲ見テ抑モ此品類タルヤ最近工事業ニ需
 用スル所ノ數漸次多キヲ加ヘ「パトロン」ノ製造ニ洋式ヲ造
 船ニ皆之ヲ要セザルナキヲ以テ其品質ヲ精粗ニ暫ク採措
 キ到底内國人ノ手工ニ依リテ製出スル所ニシテ其需用ニ
 給スル能ハス就中銅板ニ在リテハ年々百有餘万斤ノ巨額
 ナ外國ヨリ輸入スルニ至レリ元來銅業我國産中屈指ノ物
 品ニシテ製造ヲ加ヘサル地金ハ已ニ數百万斤ヲ海外ニ輸
 出スルイアリト雖モ其之ヲ延長シテ板トシ線トセザル

ニ至リテハ常ニ如斯彼ノノ輸入ヲ仰カサルヲ得ズ是即チ
 辨理上ニ問ヒ理財上ニ照ラスモ最モ迂遠ニシテ且チ不利
 ノ極タルモノ也是ヲ以テ我々同志者嘗ツテ其力ヲ協セ
 社ヲ創始セシメテ希企シ先ツ一人英京ニ航シテ機械ノ構
 造ヲ圖カリ併セテ其運用ノ術ヲ學ヒタルニ目今機械成リ
 術熟シ創社ノ基礎己ニ立ツテ以テ此ニ結社ノ條規定款ヲ
 作り乃チ實際其事ニ從ハントス庶クハ以テ内ニ固有國
 産ノ利用ヲ盡シ外ニ海關輸入貨物ノ數ヲ制シ國家富强ノ
 道ニ於テ裨益スル所アルニ幾カラシ乎之ヲ緒言トス
 今ニ草ムルニ至リテ其業ヲ興ル其與並ニ
 今ニ國運日ニ見ニ進歩ニ向フ百餘ノ事ヲ總括シ其面
 製銅會社創立證書

製銅會社創立證書并定款

製銅會社創立證書
 製銅會社ヲ創立シ其商業ヲ經營セント謀リ此證書ニ
 連名シタル者協議ヲ遂ケ決定シタル條件左ノ如シ
 第一條 當會社ハ製銅會社ト稱スヘシ
 第二條 當會社ハ大阪府下北區玉江町壹丁目壹番地ニ設
 置スヘシ
 第三條 當會社設立ノ目的ハ銅眞鍮延板并銅線ヲ製造シ
 廣ク内外ノ需用ニ販賣スルモノトス
 第四條 當會社ノ株主ハ其責任ヲ有限ト定ムヘシ故ニ若

第四條 會社ノ鎮店又ハ非常損害ヲ受ケタル場合ニ於テ其
 其負債及ヒ右ニ關シタル入費ヲ株高ニ割附ケテ之ヲ
 辨償スルニ止メ株主自己ノ資財及ボサハルモノト
 スルハ内依テ罰則ニ課賣スルハイハ
 第五條 當會社ノ資本金ハ貳拾萬圓ト定メ之ヲ貳千株ト
 シ發起人ハ其貳分ノ壹以上ヲ所有スルモノトス
 第六條 但シ營業ノ模様ニヨリ追テ増額スルヨリ又減額シ得
 第六條 當會社ノ營業ハ開業ノ日ヨリ滿十五ケ年トス
 第七條 當會社現社員ノ所有セル株數并ニ其屬籍姓名等
 左表ノ如シ書共ニ
 第八條 左表ノ如シ書共ニ

株數	屬籍	住所	姓名
百株	慶島縣士族	西區靱北通壹丁目	五代友厚
同	大阪府平民	東區今橋三丁目	中野梧一
同	同	同 貳丁目	鶴池善右衛門
同	同	同 高麗橋貳丁目	三井元之助
同	愛媛縣平民	南區鰐谷東ノ町	住友吉左衛門 惣理代人廣瀬宰平
同	大坂府平民	東區北濱四丁目	平瀬龜之輔
同	同	同 伏見町四丁目	芝川又平
同	同	同 唐物町貳丁目	山口吉郎兵衛
同	同	同 南久太郎町貳丁目	杉村正太郎
同	同	北區天滿老松町三丁目	伊藤藤右衛門

合計 千株 拾萬圓

非開天壽寺御領三丁目

合計 拾萬人

右ノ証據トシテ各自姓名ヲ記シ調印致候也

明治十四年 月 日

製銅會社定款

總則

第一條 以下ノ條々ハ都テ當會社ノ規則ニシテ第四十八

條ニ掲載スル手續ヲ履ムニ非サレハ之ヲ廢止或變更

増訂スルヲ得ズ

第二條 當會社ハ何様ノイアリテ創立証書ニ掲ケタル會

社ノ目的ヲ改更スルヲ得ズ

第三條 第廿六條ニ記載スル手續ヲ以テ臨時總會ヲ開ラ

キ其議決ヲ經ルニ於テハ會社定款中ノ諸條或ハ其幾

部ヲ變換増減スルヲ得ヘシ

第四條 當會社規則中變換増減シタル條々ハ都テ之ヲ規

則ニ追加挿入シ其寫シヲ刊刻シテ之ヲ頒布スヘシ

株式ノ事

第五條 凡ソ當會社ノ株主タラント欲スル者ハ其請願書

ニ記名調印シテ之ヲ會社ノ本店ニ差出シ其請願シタ

ル株式ノ一部又ハ其幾部ノ分配ヲ承諾セラルハ其ハ

則チ此規則ニ遵ヒ株主トナリテ其引受ケタル株金ヲ

出金スヘキヲ約諾セシ者ト見做スヘシ

第六條 當會社ノ株主タルモノハ其引受ケタル株式一箇

ニ付左ノ如キ株券壹通宛受領スルヲ得ヘシ

但此株券ヲ受クルニハ手数料ヲ拂フニ及ハズ

此ノ株式券狀
ヲ賣却讓與セ
ント欲セハ當
會社へ持參ス
ベシ當會社ニ
於テハ至當ノ
檢査ヲ遂ケ此
券狀裏面ノ桁
内へ社長支配
人記名調印シ
テ之ヲ付スヘ

大製銅會社株式券
第一號

一株 金百圓也

當製銅會社ノ創立証書及ヒ定款ヲ確守シ明治
年 月 日ヨリ我製銅會社株式ノ内百圓即
チ一株ノ持主タルヲ相違ナキ證據トシテ此株
式券狀ニ當會社ノ印章ヲ押捺シ之ヲ付與スル
モノ也

明治 年 月 日

年號	月	日	賣渡人記名調印	買請人記名調印	社長記名調印	支配人記名調印
大	製	銅	會	社	株	式
券	狀	第	一	號		
一	株	金	百	圓	也	
大	製	銅	會	社	株	式
券	狀	第	一	號		
一	株	金	百	圓	也	
當	製	銅	會	社	ノ	創
立	証	書	及	ヒ	定	款
ヲ	確	守	シ	明	治	
年	月	日	ヨ	リ	我	製
銅	會	社	株	式	ノ	内
百	圓	即	チ	一	株	ノ
持	主	タル	ヲ	相	違	ナ
キ	證	據	ト	シ	テ	此
株	式	券	狀	ニ	當	會
社	ノ	印	章	ヲ	押	捺
シ	之	ヲ	付	與	ス	ル
モ	ノ	也				

第七條 右ノ株券磨耗スルカ或ハ紛失スルノ故ヲ以テ之
 カ書替ヲ願ヒ出ツルルハ壹名以上ノ証人ヲ立事實相
 違ナキ旨至當ノ証明ヲ爲スニ於テハ相當ノ手数料ヲ
 受ケ取リテ更ニ新規ノ株券ヲ渡スヘシ

第八條 凡ソ株式ノ所有者ハ當會社所定ノ手續ヲ履ムニ
 於テハ其株式ヲ讓リ渡スニ得テシテ其得價ハ其讓渡人ノ
 責任ニ歸スルコトヲ得

第九條 當會社ハ株帳ヲ製シ之ニ株主ノ姓名屬籍宿所株
 式ノ員數入金シタル金額及ヒ讓渡シノ年月日ヲ登記
 シ置キ望ミニ應シテ之ヲ株主ノ檢閱ニ供スヘシ

第十條 株主其姓名ヲ變スルカ或ハ屬籍宿所等ヲ轉スル
 事ハ書面ヲ以テ其次第ヲ會社ニ届出ツヘシ

株金割拂及ヒ其没入ノ事

第十一條 株金ハ會社社長ヨリノ通達ニ依リ各株主其所
 有ノ割合平等ニ出金スルニ而シテ會社ノ社長ハ少
 ナクモ十日或ハ一月前ニ其入用ノ金額ヲ定メテ
 此通達ヲナスモノトス

第十二條 前條ノ如ク出金ナシタル株主ハ會社ニ其出金ノ
 受取証書ヲ交附スルニ而シテ後ニ株金ノ全額ヲ拂
 付ニ至リ其受取証書ヲ引換ヘ株券ヲ渡スヘシ若シ株主
 出金ノ期ヲ怠ルルハ其之ヲ拂ハサル間ノ利子ハ相當
 ニ拂ハシムヘシ

第十三條 株主再應出金ノ催促ヲ受ケナカラバ猶出金セシ
 株主ハ其拂入ノ金高ノ半額ヲ會社ニ没入シ殘半
 額ヲ本人ニ返付シ退社ヲ命スヘシ

第拾四條 株式賣買讓渡ノ事ニ付テハ左ノ文例ニ從テ證書
 製シ授受人雙方共ニ右證書ニ連署調印シ之會社
 差出シ登簿シ手數ヲ請フヘシ右手數ヲ經サル間ハ
 賣渡人ヲ以テ右株式ヲ所有主ト見做限ル
 株式讓渡證書文例
 受製銅會社株式ノ内第 號ノ株式何某所持分給般
 二 何某 賣 渡 讓 候 處 實 正 也 然 ル 上 向 後 右 買 或 讓
 人 勿 論 其 遺 產 引 受 人 後 見 人 分 產 引 受 人 至 ル
 都 手 是 迄 賣 渡 讓 人 守 守 所 諸 規 則 及 已
 約定 堅 守 相 守 候 仍 證 書 如 件 插 入 也
 明治金 年 會 月 日 何某 印
 何某 印

第拾五條 株式ノ賣渡ニ付會社ニ於テ不都合アリト認ム
 其 登 簿 拒 ム 得 ン
 第拾六條 若シ會社ニ於テ株式讓渡シノ登簿ヲ拒ム時ハ
 會社ノ取締ハ其理由ヲ書面ニ記載シ其日ヨリ二日以
 内ニ之ヲ右讓渡ヲ申立タル株主ニ返附スヘシ
 第拾七條 會社ニ於テ株式讓渡ノ登簿ヲ拒ミシ時若シ其
 賣 渡 人 何 某 印
 買 受 人 何 某 印
 証 人 何 某 印
 社 長 御 中
 銅 會 社
 取 締 御 中
 何 某 印
 何 某 印
 何 某 印

第拾九條 株式讓渡ヲ株帳ニ登簿スルハ其株式讓受人
 ハ既ニ會社ノ株主タルニ賣ヨリ其所有ノ株式ニ應シタ
 第拾八條 株式ノ讓渡ヲ爲スニハ先株主即チ讓渡人ハ株
 券ヲ會社ニ持參シ某裏書ヲ請フヘシ會社ニ於テ之レ
 ナ承諾シ其讓渡ノ登簿手數相濟ム上ハ之レヲ讓受人
 へ與フヘシ
 但シ此會議ノ同論多數ニ據リテ定メラレタル決議
 ハ之レヲ最後ノモノトス
 第拾七條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 會社ニ差出シ總會議ノ招集ヲ請ヒ該事件ヲ討議セ
 受テ之レヨリ三十日以内ナシハ何時ニテモ書面
 第拾六條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾五條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾四條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾三條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾二條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾一條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間

第拾一條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾二條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾三條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾四條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾五條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾六條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾七條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾八條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾九條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾十條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾十一條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾十二條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾十三條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾十四條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾十五條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾十六條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾十七條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾十八條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第拾十九條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間
 第二十條 株式ノ讓渡ニ關シテ其間

第二拾四條 會社ハ自ラ其株式ヲ所有スルコトヲ得ズ
 總會議ノ事申出ニ非テハ其株式ヲ取寄ルコトヲ得ズ

第二拾五條 常式總會議ハ社長ノ確定シタル日時場所ニ於テ毎年一月ト七月トニ之ヲ開クヘシ

第二拾六條 會社ハ社長取締ノ見込ニ從ヒ又ハ人員拾名ニ下ラス且ツ其所有ノ株數總株ノ三分一ニ下ラサル株主ノ求ニ應シ或ハ此ノ定款第拾七條ニ揭クルカ如キ株主ノ請求ニ由テ何時ニテモ總會ヲ催スコトヲ得ヘシ

第二拾七條 株主ヨリ臨時總會議ヲ開カント要スルハ其目的ヲ記シタル要求書ヲ會社ノ本店ニ差出スヘシ

第二拾八條 社長取締ハ右ノ要求書ヲ受取テハ直チニ臨時總會ヲ召集スルコトヲ得

時總會ノ召集ニ着手スベシ若シ社長取締ニ於テ要求書ヲ受取タル日ヨリ十四日內ニ召集ノ手續ニ着手セサルハ要求人等ハ自ラ臨時總會議ノ召集ヲ爲スベシ

第三拾九條 凡ソ臨時總會ノ召集ヲナスニハ其集會スヘキ當場日刻及ヒ議事ノ大旨ヲ招狀ニ記載シ集會ノ當日ヨリ少ナクモ一週間前ニ之ヲ株主一同ニ送致スヘシ斯ノ如キ手數ヲナシタル上ハ假令株主ノ中ニ右招狀ヲ受領セサル者アリト謂フモ會議召集ノ手續ハ充分ニ盡シタルトナス可シ

第三拾條 利益金分配ノ事ヲ確認シ并ニ諸計算表其他諸

役員ヨリ差出ス所ノ通例報告書類ヲ査定スルノ外其餘ノ議事ハ常式總會ニ於テ議ス可カラズ

第三拾一條 凡ソ總會議ニ於テ事ヲ議スルニ當リテハ必ス總社員ノ半數以上出席シ其所有セル株高總株高拾分ノ七以上ニ滿ツルニ非サレハ何事ヲモ決定スルヲ得ス

第三拾二條 株主ノ要求ヲ以テ臨時總會ヲ招集ヲシ其集會ノ刻限出席ノ人員并ニ其所有株高トモ第三拾一條ニ掲グル所ニ滿タサルハ其會議ヲ散シ其議事ヲ廢スヘシ然レモ社長取締ノ見込ヲ以テ招集シタル場合ニ於テハ其會議ヲ延シ其日ヨリ一週間後ニ同刻限ニ於テ再ヒ之ヲ開クヘシ猶出席人員等定數ニ充タラ

ル時ハ之ヲ順延スヘシ

第三拾三條 社長ハ總會ノ議長タルヘシ若シ開會刻限ニ至リ臨席セサルハ出席シタル人員ノ中ヨリ議長ヲ撰フヘシ

第三拾四條 議事ノ可否ヲ決スルハ同説ノ多キニ依リ若シ相ヒ半ハスルハ議長之レヲ決ス可否ノ二端ハ議長起立ヲ命ジ其數ヲ算シテ定ムヘシ然レモ或ル事柄ニ因リ二人以上投票ヲ望ムモノアレハ更ニ投票ノ法ヲ行フコトモアル可シ而シテ此場合ニ於テハ議長モ投票ヲ爲スノ權アリトス

第三拾五條 總會議ニ於テ議決シタル條件ハ都テ之レヲ議事要件録ニ登錄シ其會議ノ議長之レニ檢印シ後日

ノ確証トシテ會社ニ備ヘ置クヘシ

第三拾六條 株主ハ各々所持スル株數(十)株迄毎壹株壹個宛ノ投票ヲナシ(十一)株以上(百)株迄毎五株三個ツ、チ増加シ(百一)株以上ハ毎十株ニ壹個チ増加スヘシ而シテ起立發言ノ數モ亦之レニ準スヘシ

第三拾七條 若シ株主幼弱ナルカ或ハ狂癲白痴ノ類ナルハ後見人或ハ其他ノ正當ナル代理人ヲ以テ發言投票セシムルヲ得ヘシ

第三拾八條 若シ本人會議ニ出席ナシ能ハサルハ名代三人ヲ以テ發言投票ヲナシムルヲ得ヘシト雖モ其名代人ハ會社ノ株主或ハ至親又ハ定リタル雇人タル

雇入トハ一ヶ月以上給料ヲニ限ルヘシ

第三拾九條 名代人チ差出スルハ其會議ノ日迄ニ委任狀ヲ會社ノ本店ニ差出スヘシ

第四拾條 名代人委任狀ノ文例ハ左ノ如シ

木製銅會社株主ノ内ニ個投票ノ權チ有スル何某今般何某ヲ以テ其名代人トナシ來ル明治 年 月 日當會社例式總會議并ニ其延期會議(臨時總會議)并ニ其延期會議(來ル明治年 月 日)内ノ會議ニ出於テ發議投票爲致候仍テ委任狀如件

凡ソ當會社ノ株主ニシテ其身遠國ニ

第四拾貳條 代理權ノ委任狀ハ本人并ニ代理人之ニ記名調印シテ檢印スルニシテ之ヲ製スル

第四拾參條 代理權ノ委任狀ハ本人并ニ代理人之ニ記名調印シテ檢印スルニシテ之ヲ製スル

第四拾肆條 代理權ノ委任狀ハ本人并ニ代理人之ニ記名調印シテ檢印スルニシテ之ヲ製スル

第四拾伍條 代理權ノ委任狀ハ本人并ニ代理人之ニ記名調印シテ檢印スルニシテ之ヲ製スル

第四拾陸條 代理權ノ委任狀ハ本人并ニ代理人之ニ記名調印シテ檢印スルニシテ之ヲ製スル

第四拾柒條 代理權ノ委任狀ハ本人并ニ代理人之ニ記名調印シテ檢印スルニシテ之ヲ製スル

第四拾捌條 代理權ノ委任狀ハ本人并ニ代理人之ニ記名調印シテ檢印スルニシテ之ヲ製スル

第四拾玖條 代理權ノ委任狀ハ本人并ニ代理人之ニ記名調印シテ檢印スルニシテ之ヲ製スル

第五拾條 代理權ノ委任狀ハ本人并ニ代理人之ニ記名調印シテ檢印スルニシテ之ヲ製スル

ニハ必ス左ノ文例ニ法テ要ス

第四拾貳條 代理權委任狀文例

製銅會社株主ノ内何某儀今般何某ヲ以テ其代理人

第四拾參條 創立証書定款ニ記名調印株金割拂出金ヲナシ

其受領証若シテ株券ヲ領収シ分配金ヲ受領シ其受

領書ヲ出シ其他會社ニ係ル一切ノ事務取扱ヒ

ノ權限ヲ守リテ右代理人ノ取扱ヒタル事件ニ委託

本人ニ於テ一切其責ニ任スヘキモノ也委任狀仍テ

如件

明治 年 月 日

屬籍宿所人 株主 某

委託本人株主 何 某 印

代理人株主 何 某 印

製銅會社 社長 御 會中

會社役員ノ事

第四拾三條 當會社ハ左ノ役員ヲ置クモ

社長 二名 副社長 二名

取締役 二名 支配人 二名

技術長 一名 出納方

書大記 手 代

第四拾四條 社長副社長及取締ハ株主一同ノ投票ヲ以テ

拾株以上ヲ所有スル株主ノ内ヨリ撰擧スヘシ

第四拾五條 當會社ニ依リテ利益ヲ有スル他ノ店舗夫有

シ又ハ身代限リヲ爲シ或ハ當會社ト取引シテ利益ヲ

収ムル契約ニ關係スルモノハ正副社長取締支配人及

ヒ出納方ノ職ヲ保ツ能ハス

第四拾六條 正副社長取締ノ在職ハ一年トス尤モ衆望

ノ歸スルニ於テハ重年セシムルヲ得ヘシ

第四拾七條 社長ハ會社ノ事務ヲ總管裁理シ他ノ役員ヲ

指揮シテ其職任ヲ盡サシメ會社一切ノ責ニ任スヘシ

第四拾八條 社長取締ハ總會投票ノ手續ヲ定メ會社ノ事

第四 務取扱ノ爲メニ別ニ營業規則ヲ設ケ及ヒ之ヲ變更廢止スル等何レモ其衆議ヲ以テ之ヲ決定スルコトヲ得ヘ

第四拾九條 左ノ件々ハ株主ノ許認ヲ待タズ社長取締ノ

合議ヲ以テ適宜所分スルヲ得ヘシ

(甲)製造物品ヲ販賣シ營業需用ノ物品ヲ購入スル事

(乙)會社ヨリ他ヲ相手取ルカ若クハ他ヨリ會社ヲ相

第四拾正 手取リタル公事訴訟ノ原告或ハ被告トナリ或ハ

仲裁之ヲ勸解シ或ハ之レヲ仲裁ニ附シ或ハ之ヲ停止

第四拾四 或ハ之ヲ願下クル事ハ株主一同ノ對票モ思マ

(丙)株式ヲ分配シ株式ノ讓渡シテ許諾シ若クハ拒絕

第五拾一 支配人以下役員及ヒ諸職工等ヲ雇入レ又ハ雇止

第五拾二 其給料ヲ定メ或ハ之ヲ増減シ諸役員ヲ各地ニ

第五拾三 派出セシムル事

第五拾四 社長取締中不時ニ欠員ヲ生スルモハ會社ニ於

第五拾五 臨時總會ヲ開キテ之ヲ撰舉シ假ニ其欠員ヲ補フ

第五拾六 臨時總會ニ此撰舉ニ當リタルモノハ先任ノ在職

第五拾七 期限ヲ越ヘテ其職ヲ保ツコトヲ得ス

第五拾八 凡ソ臨時總會ノ決議ヲ經ルニ於テハ社長取締

第五拾九 締ノ者在職期限中ト雖モ不時ニ其職務ヲ解除セシム

第五拾十 社印ハ社長取締ニ非サソハ之ヲ使用スルヲ

第五拾十一 社印ハ社長取締ニ非サソハ之ヲ使用スルヲ

第五拾三條 總テ社ヨリ發スル証書及ヒ文書類ニハ社印
 及ヒ社長取締ノ實印ヲ用フヘシ其
 第五拾四條 社長取締ハ其本分ノ職務ヲ行フヨリ損失ヲ
 生スルコトアルモ其事故意ノ所爲ニ出テサルモハ一身
 ニ其責ヲ負フコトナシ
 第五拾五條 社長ハ會社財產ノ出納ニ干預シ營業上ノ順
 正序ヲ立テ每半年營業ノ實際考課狀ヲ調製スヘシ
 第五拾六條 取締ハ其委任サレタル一切ノ事務ニ付キ會
 社ノ名稱ヲ以テ官廳ヘ伺届又ハ諸會社及ヒ取引先ト
 書信ヲ往復スルヲ得ヘシ
 第五拾七條 取締ハ社長不在ノ時其代理トナリ會社營業

第六ノ事ニ關シ他ノ役員ニ事務ノ進捗ヲ督促スルヲ得
 第五拾八條 支配人ハ社長ノ指揮ヲ受テ會社ニ關スル金
 銀財產ノ出納ヲ擔當シ諸帳簿ヲ製シテ之ヲ明瞭ニ記
 載シ會社ノ本店ニ備ヘ置キ株主ニ於テ檢閲ヲ望ムル
 ハ何時ニテモ之ヲ開示シ其ノ質問ニ答辨スルノ責
 任ヲ負フコトナシ
 第五拾九條 支配人ハ諸収入金ノ受取証書ニ証印シ又金
 錢ヲ銀行ニ預ケ或ハ之ヲ引出ス等ニ就テハ社長又ハ
 取締ト連印ノ上其引合ヲナスコトヲ得可シ
 第六拾條 技術長ハ社長ノ指揮ヲ受ケ職工ヲ管理シ製造
 ニ係ハル一切ノ要務ヲ擔當シ製造品ノ良否及ヒ製造

ノ多寡ニ就キ其責ニ任スヘシ又毎月及ヒ毎半週年
 第六拾一條 製造報告ヲ調製スヘシ
 第六拾一條 技術長ハ職工ノ勤惰ヲ監督シ勉勵超衆ノモ
 ノアルトキハ社長ニ具狀シ臨時ノ賞與ヲ爲スルヲ得
 第六拾二條 技術長ハ職工ノ給料ヲ増減シ又工事ノ景況
 ニ依リ其人員ヲ増減スルコトニ就キ意見ヲ社長ニ開申
 スルヲ得ヘシ
 第六拾三條 出納方ハ社長ノ指揮ヲ受ケ諸帳簿ヲ整頓シ
 真正日計簿ヲ製シ金錢ノ出納ヲ明記シ毎日社長取締ノ檢
 印ヲ受クヘシ
 第六拾四條 書記手代ハ諸役員ノ指揮ニ從ヒ往復文書其

第七條 他ノ雜務ニ從事スヘシ
 第六拾五條 當會社役員ノ給料ハ至當ノ金額ヲ定ム可シ
 社長 副社長 取締
 支配人 技術長 出納方 (當時未定追テ取極ノ筈)
 第六拾六條 書記手代
 但シ支配人以下役員ノ給料ハ右概定スル所ニ從ヒ
 社長取締ノ合議ヲ以テ隨時其額ヲ定メ支給スルモ
 第六拾七條 役員賞與ノ事
 第六拾六條 會社營業上ニ於テ相當ノ純益アルトキハ一般
 役員ニ賞與金ヲ附與スヘシ而シテ其割合ハ社長取締

ノ意見ヲ以テ之ヲ定メ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ施行スルヘシ

第六拾七條 諸收入金ハ其種類ノ何タルヲ論セス直ニ之ヲ結約ノ銀行ニ預ケ置クヘシ

純益全配當ノ事

第六拾八條 社長取締ハ常式總會ノ決議ヲ經テ會社ノ純益中ヨリ諸役員ノ賞與金並積立金ヲ引去リ其殘餘ヲ株高ニ應シテ配分スルヘシ

第六拾九條 利益金分配ノ報告ヲ爲シテヨリ一ケ年ヲ經テ之ヲ請求スル者ナキハ取締ニ於テハ其分配金ヲ會社ニ没入スルヲ得ヘシ

第七拾條 分配金ニ付テハ會社ニ對シ利子ヲ要求スルヲ得ス

會社積立金ノ事

第七拾一條 會社積立金ハ資本金高ニ對シ年一割以上ノ純益アルハ總會ノ決議ヲ經テ相當ノ積立金ヲ蓄積スルヘシ尤モ積立金資本金ノ半額ニ至ルハ別段總會ニ於テ異議ヲ發スルニアラサレハ爾後ハ之ヲ爲サ、

計算ノ事

第七拾二條 會社ノ計算ハ一年ヲ分ツテ二季トシ六月ヨリ六月迄ヲ前季トシ七月ヨリ十二月迄ヲ後季トシ毎季其決算ヲ爲スルヘシ

第七拾三條 每季決算ノ時ニ當リ現存スル準備物品繰越
高ハ其購入原價ヲ以テ計算シ又發賣品ノ代價ハ其季
中製造ニ係ル費用ヲ平均シテ其原價ヲ算出シ之カ金
額ヲ積算スルモノトス

第七拾四條 社長ハ每季總會議ニ於テ其前季ノ資産責任

明細書即營業實際ノ考課狀及損益計算表ヲ報告スル

第七拾五條 資産責任明細書及損益計算表ハ之ヲ刊刷シ

後條ニ掲クル所ノ手續ヲ以テ株主ニ同ク頒布スル

而シテ右ノ總會議ニ於テ議定シタル後ハ過誤或ハ不

正ノ事實ヲ証明スルニ非サレハ右會議ニ欠席シタル

モノ異論ヲ述ル能ハス

第七拾六條 會社ヨリ株主ニ對シテ報告ヲ爲サントスル

時ハ其報告書ヲ本人ニ直達スルモ廻狀或ハ郵便ヲ以

テ本人ノ宿所ヘ送達スルモ都テ會社ノ便宜ニ任スル

而但シ數人ノ者一株或ハ若干株ヲ共有スル場合ニ於

テハ其共有主中株帳記名順第一ノ者若シ共有主ヨ

リ申込ニアレバ其申込ノ人ヘ交付スル

第七拾七條 創立証書規則ノ趣旨又其文面ノ意味或ハ

規則ニ遵フテ履行スル所ノ事件ニ付會社ト株主或ハ
其代理人若シハ其後見人トノ間ニ意見ヲ異ニシ紛議
ヲ生スルハ毎ニ之ヲ仲裁ニ附スル

第七拾八條 右ノ如ク仲裁ヲ仰クニ付双方ノ間ニ別段ノ
 約定アルニ非ラサレハ双方ヨリ一名ツ、ノ仲裁人ヲ
 撰舉シ其裁斷ヲ托スヘシ而シテ二名ノ仲裁人ハ又他
 方ヨリ一名ヲ撰ミ置キ若シ各意見ヲ異ニシテ一致セサル
 時ハ右ノ一名ニ判定ヲ委スヘシ

第七拾九條 一方ノ相手ヨリ他ノ一方ヘ書面ヲ以テ仲裁
 人ヲ撰ミタル旨ヲ達シタル後十日ヲ過キテ尙ホ右書
 面ヲ受取リタル一方ニ於テ之レヲ撰舉セサル時ハ一
 方ノ仲裁人ヲシテ之レヲ裁斷セシムルヲ得ヘシ

第八拾條 仲裁人ハ仲裁ヲ委托シタル双方ノ相手及ヒ其
 証人ヲ推問スルノ權アルヘシ

第八拾一條 仲裁人ハ紛議ノ事件ニ付裁斷ヲ爲スヘキ旨

双方ノ相手ヘ報告シ双方共不在ナルモ或ハ一方ノ者
 不在ナルモ臨機之ヲ裁斷スルノ權アルヘシ

第八拾二條 仲裁人ハ紛議ノ事件ヲ委托セラレテヨリ三
 十日内ニ裁斷シテ之レヲ書面ニ認メ記名調印シテ之
 ヲ双方ノ者ニ渡スヘシ而シテ双方ノ相手ハ此裁斷ニ
 異議セス都テ之ヲ履行スヘシ

第八拾三條 仲裁ノ爲メニ支消シタル諸入費ハ都テ仲裁
 人ノ差圖ニ從テ之ヲ拂フヘシ

第八拾四條 會社ハ其臨時總會ノ決議ヲ以テ自ラ解散ス
 ルヲ得ヘシ

第八拾五條 會社解散ノ事ニ決シタル初日ヨリ業務ヲ結

第八拾六條 會社ヲ解散スル時ハ速ニ其次第ヲ二種以上ノ新聞紙ニ依テ公告スヘシ

第八拾七條 會社解散ニ決シタル時ハ直ニ臨時總會議ヲ開キ株主或ハ役員中ヨリ二名以上ノ適當ナル人ヲ撰

舉シ之ヲ業務結算人ニ任シ且其給料ヲ定ムヘシ

第八拾八條 結算人撰任ノ手數相濟ムトキハ社長以下ノ職務ヲ放ツヘシ

第八拾九條 結算人ハ會社ノ所有財産ヲ収集シ之ヲ以テ業務結算ノ入費ヲ拂ヒ各種ノ負債ヲ辦償シ其殘餘ノ金額ヲ株主ニ配分スヘシ

第九拾條 結算人ハ便宜ニ從ヒ總會議ノ招集ヲナス事ヲ得ヘシ

第九拾一條 結算ノ事務落着スル時ハ結算人ハ直ニ其事務ノ手續并ニ財産ノ賣却等ヲ記載シタル報告書ヲ製シ之ヲ總會議ニ附シ其檢閲ヲ受クヘシ而シテ會社解散ノ旨ヲ其筋ニ届ケ出ツヘシ

第九拾二條 今此ニ定ムル所ノ創立証書及ヒ以上九拾一條ノ定款ハ將來政府ニ於テ會社條例ヲ發行セラル、時ハ之ヲ遵奉シテ總テ其條例ノ如ク引直スヘシ

右ノ條々發起人ノ衆議ヲ以テ相定其証據トシテ株主一同

別 款

第九拾二條 今此ニ定ムル所ノ創立証書及ヒ以上九拾一條ノ定款ハ將來政府ニ於テ會社條例ヲ發行セラル、時ハ之ヲ遵奉シテ總テ其條例ノ如ク引直スヘシ

右ノ條々發起人ノ衆議ヲ以テ相定其証據トシテ株主一同

別 款

第九拾二條 今此ニ定ムル所ノ創立証書及ヒ以上九拾一條ノ定款ハ將來政府ニ於テ會社條例ヲ發行セラル、時ハ之ヲ遵奉シテ總テ其條例ノ如ク引直スヘシ

姓名ヲ自記調印スル者也
 明治十四年五月...
 北區老松町二丁目一丁目
 伊藤藤右衛門

株数	金高	住所	姓名
百五拾九株	壹萬五千九百圓	東區高麗橋二丁目	三井元之助
百四拾四株	壹萬四千四百圓	西區鞆北通一丁目	五代友厚
百貳拾九株	壹萬貳千九百圓	東區今橋二丁目	鴻池善右衛門
百〇九株	壹萬〇九百圓	同 同 三丁目	中野梧一
百〇七株	壹萬〇七百圓	同 北濱四丁目	平瀬龜之助
百株	壹萬圓	南區鱈谷東ノ丁	住友吉左衛門 代理人 廣瀬幸平
同 拾五株	同 千五百圓	東區南久太郎町二丁目	杉村正太郎
九拾九株	九千九百圓	同 伏見町三丁目	芝川又平
九拾八株	九千八百圓	北區老松町二丁目一丁目	伊藤藤右衛門

五拾株	五千五百圓	東區唐物町二丁目	山口吉良兵衛
同	同	同	笠野源三郎
三拾五株	三千五百圓	南區鱧谷東ノ丁二丁目	廣瀬五幸平
同	同	東區高麗橋三丁目	藤吉田倫七
三拾三株	三千三百圓	同	辻忠石衛門
三拾貳株	三千貳百圓	同	永見米吉郎
同	同	同	黒川善幸七
三拾四株	三萬四千四百圓	同	中山信彬
貳拾三株	貳千三百圓	同	小野重太郎
貳拾壹株	貳千一百圓	同	西田永助
貳拾株	貳千圓	同	金澤仁兵衛

同	同	同	田中市兵衛
同	同	東區南久太郎町三丁目	杉村徳次郎
同	同	同	西村虎四郎
同	同	北區堂島濱二丁目	清岡和龍
同	同	東區瓦町三丁目	善積佐兵衛
拾八株	千八百圓	同	松浪宗七
拾七株	千七百圓	同	藤田傳三郎
同	同	滋賀縣滋賀郡上小幸崎町	秋田彌左衛門
同	同	東區安土町一丁目	木原忠兵衛
拾六株	千六百圓	同	長尾善藤三
同	同	東京日本橋區龜島一丁目	埜依周吉郎

拾五株	千五百圓	東區高麗橋一丁目	田中壯松
同	同	同	高木善兵衛
同	同	同大川町	青谷惟治
同	同	北區中ノ島四丁目	本莊一行
同	同	東區南久太郎町二丁目	杉村永三郎
拾貳株	千貳百圓	同 備後町一丁目	川上利助
同	同	北區堂島濱一丁目	柳利作
拾株	千圓	東區京橋三丁目	井上保次郎
同	同	長崎縣長崎銅座町	永見傳三郎
同	同	北區堂島濱二丁目	阿部金次郎
同	同	同 富島町	光村彌兵衛

四

同	同	東區伏見町三丁目	芝川又右衛門
同	同	同 備後町一丁目	和井田藤助
同	同	同 淡路町一丁目十九番地	越野嘉助
同	同	東京府本所區本所清水町	鈴木直六
九株	九百圓	西區土佐堀二丁目	山田善助
六株	六百圓	東區伏見町四丁目	安田源三郎
同	同	西區韮下通一丁目	水野善九郎
同	同	東京府深川區福住町	澁澤榮一
同	同	同 日本橋區南茅場町	今村清之助
同	同	北區堂島中二丁目	濱崎伊七
五株	五百圓	同 日本一丁目替田	齋藤嘉七

五

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
					株					
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
						百				
					圓					
同	東區今橋五丁目	西京辨慶町	同	同	東區大手通二丁目	南區安堂寺町一丁目	西區堀江通五丁目	西京榎屋町	東區高麗橋三丁目	長崎本五島町
同	村井源次郎	永田彦作	尾崎由次郎	伊庭貞剛	加藤長次郎	古子記十郎	長江伊太郎	上原治郎兵衛	一井政七	肥塚與八郎

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	南區問屋町	同	西區立賣堀三丁目	同	南區鍛冶屋町	北區真砂町	西區江戸堀上通二丁目	同	同	同
	長谷川由兵衛	富岡七太郎	西川寅造	廣瀬幸	肥田彌兵衛	宮津賢次郎	北村一作	小西平兵衛	福岡宗兵衛	章間貞太郎

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
茲賀縣下大津阪本町	北區堂島船大工町	東區瓦町二丁目	同 大川町	同 本町一丁目	同 安土町二丁目	同 大川町	同 本町一丁目	同 大川町	同 本町一丁目	同 大川町
數田勘兵衛	榎並吉次郎	青木分兵衛	釋本基一	平井愛	菅半兵衛	生駒次郎助	阿部源七	伊藤善兵衛	夕田利作	本田源次郎
										百三十名

合計二千株 金高二拾萬圓

.....

本資料は、大阪商工会議所所蔵の「五代友厚関係文書」収録資料のうち、お問い合わせの多いものを抜粋し公開するものです。

資料を複製使用する場合は、あらかじめ申請書を提出し許可を受けていただく必要があります。

手続きにつきましては、下記事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

【事務局】大阪商工会議所 大阪企業家ミュージアム

〒541-0053 大阪市中央区本町 1-4-5 大阪産業創造館 B1F

TEL 06-4964-7601 FAX 06-6264-6011

museum@osaka.cci.or.jp

.....